

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成31年2月14日(木) No.51

発行人

桃源郷マラソンは走れるのだろうか？心配だなあの川崎先生。

◆ “キョロちゃん” が亡くなりました 2/12 (火) ◆

気がついた保護者から連絡をいただきました。2月の三連休中にチャボの“キョロちゃん”がその天寿を全うしました。西小に来てから早8年。チャボの一般的な寿命は長くて10年～と言われているので、西小のキョロちゃんはかなりの高齢だったことになります。どんな生き物にも寿命があり、それが自然の摂理なので仕方ない事ですが、家族同然に世話をしていた子どもたちはやはりショックでした。特に当番をしている2年生は、朝から「キョロちゃんは？キョロちゃんは？」と大騒ぎでした。

どんな生き物であれ、一緒にいる以上は必ずその生死に向き合うこととなります。そしてそこから生を感じ、また死を受け止めることが、生き物に対する思いやりであり供養でもあります。さようならキョロちゃん。思い出をありがとう。

◎ 4年生授業参観（二分の一成人式） 2/12 (火) ◎

授業が終わった後に、より子どもたちが好きになりました。川崎ですらこんな感傷的になるのですから、保護者の方々の心中やいばかりでしょうか。しみみりと、しみじみと過去が回想され、幼いころの様々な出来事が脳裏に浮かんだことでしょうか。あんなことあったなあ、こんなこともしたなあ、大きくなったなあ、10歳って子どもだけど大人だなあ。

45分の中に、小さいころの写真、大人とは、なりたいもの、群読、合唱、合奏、手紙交換、そしてなんとサプライズの保護者からの合唱。次から次へと成長の証が発表され、その度に笑顔でうなずく顔、はたまた涙する顔が。たっぴりと、そしてしっかりとお互いを感じ合った1時間でした。いいものを見せてもらいました。私まで幸せな気持ちです。感謝
<m(_)_m>

□ 良く学び良く遊び □

どうやら2月の休日に、篠原t、市川t、藤田t、川口tの四人でディズニーランドに行ったようだ。いや結構結構。仕事は仕事、遊びは遊び。このオンとオフの使い分けは人間にとって大事な大事な心の栄養になるのだから。川崎だって、ふらりと一人でスキーに行ったり居酒屋行ったりするし、自転車のって南アルプスぐるっと一周したりする。昔から、“良く学び良く遊べ”と言うけど、もちろん大人も同じ。うんうん(*^。^*)。

● ほのぼの、ほのぼの(^△^) ●

- ①霜が降りると、その霜が降りた枯葉や杉の葉、様々な植物で川崎の手のひらがいっぱいになる。この自然を見る目。ほんの小さなことに関心を持つ心。
- ②朝のジャンケンでその日を占う子どもたち。
- ③勝つまで続けて勝って笑顔の子ども、5連敗しちゃったと負けても笑顔の子ども。
- ④給食のゼリー1個あげただけでも5年生にたくさん感謝される。日常生活のいたるところに、ほのぼのしたあたたかさがある。
- ⑤すり寄ってくるので頭を撫でてあげると、満足して走り去っていく1年生。